

提出された意見の概要と市の考え方

	意見の概要	市の考え方
1	<p>現在、徳島市中心部やその周辺地域における慢性化した交通渋滞の緩和等を目的として、中心部を迂回する徳島環状線の整備が進められています。</p> <p>通過交通量が多い徳島市中心部において、街路空間を自動車から歩行者にシフトするためには、現在実証運行中のAIデマンドバスの取組が有効であると考えますので、徳島環状線の整備とあわせて、本計画の基本方針である「まちづくりと連携した、公共交通の再構築」に基づき、本格運行に向けて取り組んでいただきたいと思います。</p>	<p>本計画では、「施策④ 地域や需要に応じた移動手段の導入」において、デマンド交通などの新たな交通モードの導入を検討することとしており、AIデマンドバス「のるーと徳島市」の実証運行を通じて、得られたデータやニーズを分析し、新たな運行形態としての有効性や本格運行の可能性などについて検討していきたいと考えております。</p> <p>なお、徳島環状線は国、県が主体となり整備を進めており、本市は周辺対策事業として道路・水路等の改良工事を行っております。</p>
2	<p>高齢ドライバーの交通事故を防止するためには、安心して免許の返納ができる環境づくりが必要だと思えます。</p> <p>そのためにも、計画にあるように重複している路線の再編や、運転手不足への対策をしっかりと確実に進めて、持続可能な路線バスの運営に繋げてください。</p>	<p>本計画の「施策① 路線バスの整理・再編」や「施策② 健全で効率的な公共交通の運営」、「施策⑭ 高齢者や障害者などに優しい公共交通の推進」において、利便性の向上と効率化を図るバス路線の整理・再編などに取り組んでまいります。</p>
3	<p>今回の計画やアンケートの内容を見ると、個人が自動車を所有している割合が高いため（免許所有率、自由に使える自動車がある割合が市民アンケートで8割弱）、現状では公共交通を主要な手段として認識していない人が多いと考えられます。アンケートで自動車が使えないときの質問で、自転車が首位なのもその要因かもしれません。</p> <p>すでに車や自転車を持っているので必要性を感じていないなど、いろいろな理由があると思いますが、理由の一つとして、現在の公共交通のわかりにくさがあると思います。特に路線バスはどこに連れていかれるかわからない怖さがあります。このわかりにくさを除去することも新規顧客の開拓につながると思います。</p> <p>今後のさらなる高齢化に伴い、ある意味新規顧客となりうる免許返納者やそれに伴う買い物・移動難民も増えると予想され、公共交通は欠かせないものとなってくると思いますので、だれもが使いやすい、敷居の低い公共交通になることを望みます。</p>	<p>本計画では、「基本方針2 わかりやすく、使いやすい公共交通の提供」及び「基本方針3 みんなにやさしい、持続可能な公共交通の形成」の各施策において、バス停の上屋・ベンチをはじめとしたハード面の整備に加え、バス停表示の充実や公共交通利用促進、情報発信の強化などのソフト面の整備も充実させていくことで、日常生活の移動手段として、公共交通のアップデートを図ることとしています。</p>